

# 災 害 現 地 調 査

7月6日～7日に発生した大雨は、田辺市、みなべ町を中心にして農地や農作物に大きな被害をもたらしました。7月11日には農林水産省農村振興局防災課の災害査定官が現地入りして近畿農政局整備部防災課、和歌山県農林水産部農業農村整備課とともに本会職員が田辺市の被災現場の調査に入りました。

田辺市上秋津川西の被災現場は、谷の両側にあるミカンや梅の畑が集中豪雨による土石流や鉄砲水で流出したり、大量の土砂が畑を埋めており、農業用施設(用水路、単軌道、かん水施設等)が被災しています。また、農道が寸断され、舗装がめくれ上がり、路肩が流失している箇所も見られました。農業用揚水ポンプに電気を送っている電柱がなぎ倒されている所もあり、水が必要な夏場に向けて早急な復旧が望まれます。



被災した農地、農道、排水



なぎ倒された電柱



被災した単軌道



土石流で穴の開いたタンク



被災した農道



被災した用水路の復旧作業